



高山西ロータリークラブ

No. 2205 回 例会 平成 23 年 3 月 25 日

ロータリー情報委員会

# 例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30  
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4F

●会長 鍋島 勝雄  
●幹事 中村 良平  
●会報委員長 米澤 久二



「月暈の浅間山」 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

ニュージーランド地震義捐金に付きましては、総額 35,200 円でガバナー事務局に送金させていただきました。

また、先週の例会にて、皆様の貴重なご意見を頂き決定させて頂きました。東日本大震災被災地に対する義捐金に付きまして、ガバナー事務局に 10 万円を送金し、昨日、会員皆様の尊い金が役に立つ事を願って、百万円を高山市民時報社を通して寄付してまいりました。



このような時には、明るい話題の会長の時間が必要だと思いますが、寄付を執った帰りに、高山警察署に寄り色々な話をしている中に、震災地に岐阜県警から支援官として、愛知県警と合同で在る遺体安置所任務を任されて居る警察官から非常に辛い報告がされたと言われました。館内にはシーツに包まれた、多くの遺体が有り、家族が懸命に探している姿、見つかる瞬間号泣が辺り一面に鳴り響く何と声を掛ければ言葉が浮かばないと、ある家族は娘さん(小学生)に毎日新しい服を掛けて茶毘の順番を待ち続けている姿を、まるで生き地獄だと！

今日の中日新聞に聞いた事と同じことが記載されていた、非常に厳しい現実を聞いただけでも想像できる、もし自分に降り掛かった時、耐えられるか被災者の心中を察します。

## ◎はぐるま会より

第 1 6 4 回 はぐるま会開催のご案内  
日時 4月24日(日) 12:36 スタート  
場所 飛騨高山カントリークラブ  
表彰式 カントリーレストランリス  
会費 3,000円  
締切 4月1日(金)

## ◎濃飛分区次期ガバナー補佐より

・濃飛分区次期会長・幹事懇談会開催のご案内  
日時 4月16日(土) 15:30~18:00  
場所 銀水庵 高山市西之一色町

## ◎下呂ロータリークラブより

「創立 50 周年記念式典」ご臨席のお礼

## ◎高山市ソフトミニバレーボール選手会、高山市体育指導委員会より

・第 5 5 回高山西ロータリークラブ杯争奪  
高山市ソフトミニバレーボール大会についてお礼

## ◎飛騨高山国際協会より

・平成 2 3 年度飛騨高山国際協会実務者連絡会議の開催について  
日時 4月8日(金) 午後 10:00~  
場所 高山市役所 4 階中会議室  
議題 ・平成 2 2 年度事業報告、決算報告  
平成 2 3 年度事業計画(案)、予算(案)

## <受贈誌>

亀山 RC (第 3 3 回インターアクト年次大会報告書)、  
米山梅吉記念館(館報 1 7 号)



## <幹事報告>

◎R I 日本事務局より  
・4月のロータリーレートについて  
1ドル 80円  
(現行 84円)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	37名	7名	44名	44名	100.00%
本日	38名	-	38名	44名	86.36%

# 例会報告

## ＜本日のプログラム＞ロータリー情報委員会

ロータリー情報委員長代理 田近 毅

本日は 飛騨慈光会 常務理事、夕陽ヶ丘 施設長の平田 美知枝さんに講師としてお越しいただきました。私自身社会福祉協議会等を通じて平田さんと親しくさせていただいている中で、今年夕陽ヶ丘から岐大医学部に合格者を出したと伺い、素晴らしい話だと思っております。慈光園の後援会長で、当クラブロータリー情報委員長でもある岡田 賛三さんに話をした所、「ちょうど今度自分の担当例会があるので、その際にでも是非話をさせていただこう」となりました。私はロータリー情報委員ではありませんが、本日岡田さんが都合で例会をお休みですので、そのような経緯もあらうご紹介をさせていただきます。

昭和 25 年 3 月 6 日生まれ、昭和 43 年 西高等学校卒業。

昭和 43 年 6 月 飛騨慈光会精薄児施設山ゆり学園就職。

昭和 44 年 8 月 保育士資格取得、平成 4 年 4 月 山ゆり学園総括主任、平成 5 年 6 月 飛騨慈光園園長心得、平成 8 年 4 月 飛騨慈光園園長、平成 10 年 4 月 夕陽ヶ丘に施設名を変更。現在に至ります。



飛騨慈光会 常務理事・夕陽ヶ丘施設長 平田 美知枝 様

(文責：米澤会報委員長)。

平田さんは『飛騨慈光会は地域の皆様のご要望に応え、だんだんと大きくなって各種の施設を運営させていただくようになりました。地域の皆様の多大なご支援を賜り運営をさせていただいており感謝しております』とご挨拶され、以下の様に飛騨慈光会の発足からの歩み、そして児童養護施設のお話をされました。

『昭和 28 年 6 月、高山市仏教会は、「児童養護施設」設立の発願者となり、運動を展開し、昭和 30 年児童養護施設飛騨慈光園が開設されました。飛騨慈光会は、この設立運動の中で、「社会福祉事業法」の定めるところにより昭和 31 年 9 月に認可された法人です。

昭和 36 年に始まった、婦人団体（山ゆり会）を中心とする「知的障害児」施設開設運動が、昭和 41 年には当法人に引き継がれ、翌 42 年に知的障害児施設山ゆり学園が開設されました。これを契

機に飛騨慈光会は、組織改革とともに財政基盤を強化し、障がい者問題も含む幅広い福祉問題に取り組む法人として一步を踏み出すことになりました。

飛騨慈光会は、飛騨を一つの福祉圏としてとらえ、「暮らしの場」を中心とする障がい者の多様な要求に応えるために、地域に根ざした総合的な施設づくりを進めてきました。

福祉圏確立の第一段階である施設適正配置計画は、益田山ゆり園、吉城山ゆり園、大野山ゆり園の建設により、広範な地域を有機的に連携させる拠点構築が完了しました。更に平成 13 年の飛騨うりす苑開設により、飛騨全域を対象とする身体障がい者支援の拠点もできました。

平成 15 年に、それまでの「措置制度」に変わり、契約制度に基づいて利用者が福祉サービスを選択する「支援費制度」が施行されました。地域の福祉ニーズは飛躍的に拡大し、それぞれの施設はデイサービス・ショートステイ・ホームヘルプといった在宅障がい者を対象としたサービスを強化しました。また、山ゆり支援センターは就業支援を含めて在宅障がい児・者を対象としたきめ細かな支援活動を展開しています。

平成 18 年には「障害者自立支援法」が施行され、法人の運営に大きな影響を受けましたが、人事労務制度と組織の大きな改革を行い経営基盤の強化を図りました。

そして現在、めまぐるしい制度改編に直面し、それぞれの施設が地域拠点としての機能を強化し、より質の高い福祉圏をめざして努力しています。』

## ＜ニコニコボックス＞

### ●鍋島 勝雄さん

- ・平田さん、お忙しい中ありがとうございます。
- ・昨日、皆様の貴重な財産の一部を、高山市民時報社に寄付してまいりました。

### ●寺田 昌平さん

平田美知枝さんの実家が西町で、私と同じ町内で親しみを感じます。高山西高校在職中は生徒の件で大変お世話になり遅まきながらお礼申し上げます。本日の卓話期待您的しています。

### ●平 義孝さん

平田美知枝さんのご来訪を歓迎いたします。

### ●田近 毅さん

- ・飛騨慈光会夕陽ヶ丘施設長 平田先生のご来訪を歓迎申し上げます。講話よろしくお願ひ致します。
- ・この様な時ですが、恒例の第 11 回チャリティー「ふれあい寄席」を 4 月 20 日(水)高山別院裏裏で行います。落語好きの方はお運びください。収益の一部を寄付する予定です。入場券を買っていただける方は田近まで連絡下さい。

### ●寺田 一夫さん

何も良い事はありませんが、久々の出席です。申し訳ありませんでした。4 月は頑張つて出席いたします。

### ●折茂 謙一さん

早退します。